

令和7年度 東郷町立高嶺小学校 第3回学校運営協議会 議事録

日時：令和8年2月5日（木）

13時30分から15時30分まで

場所：東郷町立高嶺小学校 校長室

1 開会の言葉（進行：教頭）

高嶺小学校教頭：加藤先生より開会の言葉と日程説明

2 校長あいさつ

高嶺小学校校長：西山先生よりあいさつ

3 議事

(1) 学校経営を振り返って

校長より説明あり。内容は以下のとおり。

- ・子どもたちが主体的に学ぶ授業を展開した。
「こども議会」など、自分事として地域を考える取り組みを実施。
- ・特色ある取り組みとして、専門家や企業による「出前授業」、オンライン工場見学などを実施した。来年度も継続予定である。
- ・登下校時の地域・保護者の見守りに感謝している。自転車利用時のマナー向上を指導する。
- ・資源回収について、地域の方々の協力に感謝している。

(2) 本年度の学校評価アンケート結果の分析と評価について

学校評価アンケート結果の分析と評価について教頭より説明あり。

内容は以下のとおり。

- ・肯定的な意見が多く寄せられた一方、「挨拶の向上」と「分団登下校の安全確保」が課題として浮き彫りになった。
あいさつ運動の継続や、分団会での指導を通して、改善を目指していきたい。
- ・学校の取り組みに対し、地域・保護者と連携した行事への評価を含め、多くの肯定的な意見を得た。改善要望については全職員で共有し、次年度の学校運営改善に活かしていく。

(3) 次年度の学校教育目標や教育活動への課題と提言について

- ・オンライン授業について：工場見学の代替として、臨場感を持たせたオンラインでの授業を実施している。
- ・服装・安全指導について：教室内は暖房設備が整っており、厚着による体調不良を防ぐため、校内での適切な服装を指導していく。
- ・登下校の指導について：下校時、1・2年生がバラバラになるケースがあるため、分団のまとまりを意識した指導を行う。
- ・挨拶について：子供同士の挨拶を習慣化させることが全体の意識向上につながるのではないかと提言あり。また、地域での挨拶啓蒙活動の必要性が確認された。
- ・部活動について：教職員の働き方改革の影響もあり、学校主導の部活動から地域連携型の活動への移行期にある。子供の運動の場を確保するため、地域社会との協力体制を模索する。

(4) 学習ボランティア（1年給食補助等）・スクールガード等各種ボランティア募集の拡充について

教頭から説明あり。内容は以下のとおり。

- ・1年生の給食補助およびスクールガード（登下校見守り）のボランティアを募集する。現在、回覧板等を通じて周知を図った結果、地域から協力を申し出る声も届き始めている。今後は学校運営協議会等の仕組みを活用し、地域連携による支援体制の充実に努める。

(5) 次年度のおやじの会の活動について

おやじの会代表から説明あり。内容は以下のとおり。

- ・児童会と連携し、子どもの意見を取り入れた活動を実施予定。来年度も継続して子どもたちに近い距離で活動を行う予定。

(6) その他

- ・50周年事業（R9年度）について
記念品（クリアファイル等）、航空写真撮影、記念運動会、パネルディスカッション、著名な卒業生を招いた講演会・スポーツ教室などを検討している。
予算（約20万円）と会場キャパシティが課題である。今後1年かけて詳

細を検討する。

4 連絡事項

連絡事項なし

5 閉会の言葉

教頭から閉会の言葉あり